

● 2024年度 夏期 短期留学プログラム 募集要項:プログラム編【2次募集】

◆ 募集要項の確認

本要項は、2次募集の応募方法、留意点、プログラム情報について記載しています。申込にあたっては、本要項と併せて、1次募集時発行の、「募集要項(申込要件)」の記載内容、要件を十分確認・理解の上、応募してください。
※ 本要項掲載のコース別情報は、1次募集で発行したプログラム編①及び②の掲載と、原則変更ありませんが、一部のコースで赤字特記事項を追加しているため必ず確認をお願いします。

◆ 募集要項:プログラム編 目次

項番・項目名	ページ
A. 申込方法と留意事項	P. 1
B. プログラム編【2次募集】掲載コースの関連スケジュール	P. 2
C. Global Fieldwork Project プログラム情報(共通項目)	P. 3-4
D. Global Fieldwork Project コース別情報(掲載頁 以下一覧参照)	P. 5-10
E. その他短期留学プログラム コース別情報(掲載頁 以下一覧参照)	P. 11-14

◆ 募集要項:プログラム編【2次募集】の掲載プログラム・コース一覧 コース情報掲載ページ

	プログラム・コース名		派遣国	追加募集	滞在形態	ビザ(日本)	掲載頁
	派遣期間(日本発着)		都市	形態	パスポート有効(日本籍)		項番
Global Fieldwork Project			研修言語				
1	ホーチミン市人文社会科学大学 2024/09/08(日)～2024/09/15(日) 8日間	(英語)	ベトナム	20名程度	ホテル	不要	P. 5
			ホーチミン	カスタム	入国時+6ヵ月以上		D-1
2	マレーシア科学大学 2024/09/01(日)～2024/09/08(日) 8日間	(英語)	マレーシア	20名程度	ホテル	不要	P. 6
			ペナン	カスタム	入国時+6ヵ月以上		D-2
3	パンニヤサ大学 2024/09/01(日)～2024/09/08(日) 8日間	(英語)	カンボジア	20名程度	ホテル	要	P. 7
			プノンペン	カスタム	入国時+6ヵ月以上		D-3
4	チュラロンコン大学 2024/09/08(日)～2024/09/15(日) 8日間	(英語)	タイ王国	15名程度	ホテル	不要	P. 8
			バンコク	カスタム	入国時+6ヵ月以上		D-4
5	ガジャマダ大学 2024/09/07(土)～2024/09/15(日) 9日間	(英語)	インドネシア	25名程度	ホテル	要	P. 9
			ジョグジャカルタ	カスタム	入国時+6ヵ月以上		D-5
6	淡江大学 2024/09/01(日)～2024/09/08(日) 8日間	(英語)	台湾	20名程度	ホテル	不要	P. 10
			台北	カスタム	出国日まで		D-6
異文化理解セミナー			研修言語				
7	アラバマ大学 2024/08/17(土)～2024/09/16(月) 31日間	(英語)	米国 アラバマ州	10名程度	ホテル	要	P. 11-12
			タスカルーザ	オープン	出国日+6ヵ月以上		E-1
その他プログラム①			研修言語				
8	立命館・昭和ボストン 「文化・社会調査」 2024/08/06(火)～2024/09/02(月) 28日間	(英語)	米国	15名程度	学生寮	電子	P. 13-14
			ボストン	オープン	出国日まで		E-2

◆ 本募集要項に関する問い合わせ先

※問い合わせ方法などの詳細は、「募集要項:申込要件」表紙に記載しています。

「立命館留学サポートデスク」TEL: 077-561-4881 (平日 9:00～17:00)

A. 申込方法と留意事項(募集要項:申込要件「H. 留学プログラムの申込について」もあわせて参照ください。)

A-1 申込方法・申込期間 ※ 申込期間内に、以下 URL または QR コードから申込してください。	
【募集形式】 申込者多数の場合 抽選にて決定	
【申込フォーム URL】 https://cw.ritsumei.ac.jp/campusweb/SVA20D0.html?key=SUR20240513124323994099753	
【申込フォーム QR】 	【留意事項】 <ul style="list-style-type: none"> ● 申込フォームにアクセスする際に、RAINBOW-ID とパスワードが必要です。 ● オンライン申込フォームは、申込期間の開始時間～締切時間のみアクセスいただけます。 ● ネットワーク環境の不具合などの理由であっても、締切後の申込受付はいたしません。 ● 最終日はアクセス集中で繋がりにくくなる可能性があります。余裕をもってご申込ください。 ● 申込は1回限りで、取り直し・修正は出来ません。申請時、不備が無いか十分確認してください。 ● 募集要項(申込要件)記載内容を十分確認、理解の上申込してください。
【申込期間】 2024年5月17日(金)12:30 ~5月20日(月)13:00 厳守 ※ 2次募集の申込期間は非常に短い為、お急ぎ検討してください。 ※ 合格後の手続など、期間が短い為、2次募集に合格後、辞退することは厳に慎んでください。	
【併願申込】 募集要項:プログラム編 【2次募集】8コース内で、第3志望まで併願申込が可能です。 ※ 第1志望、第2志望、第3志望それぞれの、志望コース名の選択を間違わないように十分注意してください。 ※ 第2志望、第3志望で合格した場合も、自己都合による辞退は認められません。十分検討の上申込してください。	
A-2 受付完了の確認 申込完了次第、学内メールに申込受付完了メールが届きますので、必ずご確認ください。 ※ メールが届いていない場合は受付が完了していません。万が一、締切までに申込を行ったにも関わらず、受付完了のメールが届いていない場合は、以下の期日までに必ず留学サポートデスクにご連絡ください。 期日以降の問い合わせは、いかなる事情であっても一切受け付け出来ません。 申込受付完了メール未着の問い合わせ期日:2024年5月20日(月)13:30	
A-3 申込時の Web 環境	
申込にあたっては、パソコンの利用を推奨します。 ※ mac の場合は、ブラウザを Safari ではなく、Chrome を利用してください。 CAMPUS WEB の推奨環境以外での端末や OS やブラウザ(LINE ブラウザなど)を使用するとエラーが発生する場合があります。推奨環境は URL・QR コードから確認してください。	【推奨環境 QR】 
【推奨環境 URL】 https://www.ritsumei.ac.jp/file.jsp?id=365458	
A-4 必要書類の準備 本要項に掲載のプログラムに申込の際、必要な書類(申込書類)はありません。 ※ 申込には、募集要項:申込要件「A. 申込要件の確認」のチェックリストをすべて確認・理解しておく必要があります。 費用負担者と合意の上、第2志望、第3志望も含めて、合格した場合は「辞退しない」事を前提に申込してください。	

B. プログラム編【2次募集】掲載コースの関連スケジュール

日次	項目
5/17(金)12:30 ~5/20(月)13:00	・ 2次募集申込期間 (オンライン申込)
5/23(木)17:00~ ※ manaba+R 配信	・ 2次募集合格者発表 (申込金納入に関しての案内) ・ 合格者の手続について案内動画配信 ※ 各プログラム、定員を超える申込者がある場合は、抽選にて決定します。
5/24(金)13:00迄 ※ 対象コースのみ	・ 以下の期間に、母子手帳原本を所属キャンパス保健センターへ直接提出 ● 「アラバマ大学」: 5/24(金)~5/27(月) 9:30-12:30/16:00-17:00 ● 「昭和ポストン」: 5/24(金)~5/30(木) 9:30-12:30/16:00-17:00
5/24(金)~ ※ 対象コースのみ	※ 「アラバマ大学」のみ対象 ・ <u>パスポートコピー提出(ビザ手続きの為に先行手続)</u>
5/25(土)9:15-13:15 ※ 対面 衣笠キャンパス	・ 合格者ガイダンス (合格者の手続きについての留意点案内) ・ 参加コース別の諸手続きについて案内 ・ 参加者交流会(コースごと) ※ 参加コースによって実施時間が違います。合格発表時に確認してください。
5/27(月)13:00迄	・ 申込金納入期限 (本要項掲載プログラムの申込金は、以下となります。) ● <u>Global Fieldwork Project : 50,000 円</u> ● <u>その他の短期留学プログラム : 100,000 円</u>
6/4(火)13:00迄	・ 学内提出書類提出締切 (manaba+R レポートから提出) ・ 取扱い旅行社のシステムによるパスポートデータ登録締切 ・ 海外旅行保険の手続(入金)締切 ※ 詳細は合格者手続案内動画、及び合格者ガイダンスにてお知らせします。
6/5(水)18:00-19:00 ※ Zoom Live 参加	・ 保健センターガイダンス (事前に、配信指定動画の視聴) ※ 海外渡航に関しての留意点、事前準備 など
6/29(土) 終日 ※ 対面 衣笠キャンパス ※ 対象コースのみ	・ Global Fieldwork Project のみ対象 事前研修 ※ グループ別の Fieldwork テーマ打合せなど ※ 現地研修までに、協定校バディと Fieldwork 内容打合せ
7/1(月)18:00-19:00 ※ 対面 各所属キャンパス ※ 対象コースのみ	※ 「アラバマ大学」のみ対象 ・ <u>ビザ手続ガイダンス</u>
7/11(木)18:00-19:00 ※ Zoom Live 参加	・ 危機管理ガイダンス (事前に、配信指定動画の視聴) ※ 海外渡航に関しての留意点、事前準備 など
7/13(土) 終日 ※ 対面 衣笠キャンパス	・ 渡航前ガイダンス (プログラム費用の案内、旅のしおり・保険証券等手交) ※ 当日集合・利用航空便・持参荷物・現地事情などに関する案内 など
7/19(金)13:00迄	・ プログラム費用納入期限 ※ 最終金額等の詳細は、渡航前ガイダンスにて案内します
8/5(月)~ 各コース随時	・ コースごと、現地研修実施 ※ 現地研修終了後、研修報告書提出、Feedback Session
9/25(水) 終日 ※ 対面 OIC ※ 対象コースのみ	・ Global Fieldwork Project のみ対象 事後研修 ※ グループ別の Fieldwork プレゼンテーションなど

C-1. Global Fieldwork Project プログラム情報(共通項目)

● プログラム概要(Global Fieldwork Project の学びについて)

With コロナ時代を迎えて、一旦停滞していた国際交流は今後急速に進み、現在学生の皆さんが社会に出る頃には、世界は益々グローバル化していると予想されます。そんな中、本学では、感性の豊かな大学生の期間に一度は海外プログラムへ参加し、国際感覚を養っていただきたいと考えています。その第一ステップとして、教職員の引率や現地学生とのバディ制度などの充実したサポートにより、経験がある方はもちろん、海外経験の少ない方や、語学にそれほど自信の無い方でも気軽に安心して参加できる「Global Fieldwork Project」を計画しました。約1週間の短期ではありますが、東南アジアを中心とした立命館大学の協定校に協力いただき、立命館大学生と現地学生のグループで、「歴史」「文化」「経済」「食生活」「観光産業」など自分たちの決めたテーマで、協定校の所在都市を縦横無尽にフィールドワークしていただきます。短い期間ではありますが、普通の海外旅行ではなかなか体験できない、現地同年代学生とのディープな交流や、本学参加者との協力と、自主性をもってグループテーマや調査活動のプランを決めて行動する、「体験・体感型 海外留学プログラム」となっています。設定されているコースの都市や文化などを調べて、興味のある国、コースへ参加していただき、自身の意識改革や、学習へのモチベーションを高めて、充実した学生生活、進路や社会進出への成果へつなげてください。

【プログラムの概要】

- ① 立命館大学生は学部・回生の垣根を越えてグループを編成、事前研修でグループテーマや活動内容の打合せ
- ② 出発前に、各グループに現地で協力参加する現地学生(バディー)とWeb等で活動内容の確認
- ③ 現地到着後、訪問国や都市に関わる文化・歴史・社会についての入門的なレクチャーを受講
- ④ 編成グループ(立命館大学生+現地学生)ごと、現地を縦横無尽に調査活動(フィールドワーク) ※約3日間
- ⑤ 調査活動を通して学んだこと、発見したことを、グループごとでまとめて発表準備
- ⑥ 帰国後、事後研修にて、グループごとにまとめた調査内容を発表

● シラバス(「授業の概要と方法」「受講生の到達目標」など)

manaba+R マイページ > シラバス(検索)にて、各コースの「協定校名」を入力して検索、確認してください。

● プログラム
形態

カスタム

● クラス編成

立命館大学生のみにてクラス編成
※グループ毎に現地学生バディのサポート有

● 事前事後研修

参加者全員対象のガイダンス以外に、成績評価に関わる、参加必須の事前・事後研修を実施します。

【事前研修】 2024年6月29日(土) 終日 ※予定

【事後研修】 2024年9月25日(水) 終日 ※予定

※ 時間・教室は決定後、manaba+Rでお知らせします。

● その他 Global Fieldwork Project 申込の際の留意点

過年度、GFP プログラムに参加したことのある学生は、たとえコースが違っても GFP のコースへ申込はできません。

● Global Fieldwork Project 関連の紹介動画

- ・「ホーチミン フィールド調査編」【3:27】 <https://www.youtube.com/watch?v=JVw-kvuxoXo>
- ・「ホーチミン インタビュー編」【10:19】 https://youtu.be/f6MJ5x4_Nr4?si=cd7JsEYnh8KaF3Du
- ・旅行会社 JTB による GFP 魅力紹介【13:43】 <https://youtu.be/pK6bF-yr9bE>

C-2. プログラム開催都市の位置関係



D-1. Global Fieldwork Project ホーチミン市人文社会科学大学 (ベトナム)

※ 派遣期間・派遣都市・募集定員・最少催行人員などは、表紙のコース一覧で確認してください。

※ コースの開講科目と単位授与については募集要項:申込要件「N. 学籍と履修について」を参照してください。

●協定校・都市紹介

ベトナムには首都ハノイとホーチミンに政府直轄の2大国家大学があり、ホーチミン市人文社会科学大学は、ホーチミン市国家大学の構成大学の一つで、ベトナム南部の最高峰の文系総合大学です。ホーチミン市内に2つのキャンパスを持ち、2010年には日本学部を設置、日本語教育にも力を入れています。大学のあるホーチミン市は1975年までは「サイゴン」と呼ばれ、ベトナム戦争時は南ベトナム共和国の首都として、戦争終結の舞台となった場所。古くからベトナム最大の商業都市、経済的中心地として栄えており、フランス統治の影響が残る街並みと、経済成長で建てられた高層ビル群が同居し、めざましく発展するアジアを感じることができる都市です。

●担当教員	羽谷 沙織(国際教育推進機構)	●引率	担当教員が同行します。
●滞在形態	ホテル宿泊(2~3名1室基準)	●食事	ホテル滞在中の朝食付き
●パスポート (日本国籍)	入国時+6ヶ月の残存有効期間が必要。 ※ 募集要項:申込要件「J-1. パスポートについて」を確認してください。		
●取得必要なビザ (日本国籍)	不要	●参加条件と なる予防接種	なし
●主な視察スポット	ドンコイ通り・サイゴン中央郵便局・サイゴン大教会・ホーチミン人民委員会庁舎 統一会堂・市民劇場・ベンタイン市場・戦争証跡博物館・クチトンネル など		
●食文化の特徴	ベトナム料理は、歴史的に中国やフランスの食文化の影響を受けています。 米を主食とし、肉や魚とともに、野菜とハーブがたっぷり入ってヘルシーなことが特徴です。		
●過年度テーマ例	食文化、ベトナム戦争について、ベトナム国民の平均年齢、日本との英語レベルの違いなど。		

● 往復路移動の航空便について ※現時点の予定の為、変更の可能性があります。

【航空会社】:ベトナム航空(VN)

【乗継経由地】:直行便

【出発】:関西空港(9/08/日 朝集合予定)

【帰着】:関西空港(9/15/日 朝解散予定)

※ 航空便は団体手配の為、国内空港乗継がある場合も含めて、途中参加・途中離団の参加は認められません。

●【参考】プログラム参加費用 ※以下は作成時点で予測される、費用範囲です。あくまで参考として確認ください。

① 20万円～ ② 23万円 ※ 参加人員・為替・燃油サーチャージ等により変動します。

① は、募集定員での実施にて、本要項発行日現在の為替・燃油サーチャージ等の情報で算出した予測費用、
 ② は、最少催行人数での実施にて、燃油サーチャージ等の不確定要素の上昇などを、ある程度見込んだ予測費用です。

※ 費用の不確定要素が、予測を超えて変動した場合、上記の範囲を超える場合があります。

※ 上記参加費用の基準となる構成(内訳)や、変動要素、上記に含まれないその他の費用、参加費用の納入方法などの情報は、募集要項:申込要件「L. 費用について」を参照してください。

また、本コースの費用に関しての特記事項がある場合は、本ページ最下部に記載しています。

原則、参加者全員が利用でき、返済不要のチャレンジ奨学金の支給により、

参加者負担は上記から、実質 5万円 軽減されます。

※ 奨学金については、募集要項:申込要件「M. 奨学金について」をご確認ください。

● 本コースの費用・その他に関わる特記事項

・ 現地プログラム、フィールドワーク中に必要な個別の交通費・入場料・飲食費は 参加費用に含まれません

D-2. Global Fieldwork Project マレーシア科学大学 (マレーシア)

※ 派遣期間・派遣都市・募集定員・最少催行人員などは、表紙のコース一覧で確認してください。
 ※ コースの開講科目と単位授与については募集要項:申込要件「N. 学籍と履修について」を参照してください。

●協定校・都市紹介

マレーシア科学大学は1969年にペナン市に設立された国内ではマラヤ大学に次いで2番目に歴史が長く、QS世界ランキングでも国内2位の国立大学です。自然科学のみならず26の学部と17の研究所を持ち、2022年の英国の教育雑誌の調査でSDG'sの分野において世界4位、アジアでは1位の実績があります。ペナン島はマレー半島の北西部、マラッカ海峡に位置するマレーシア随一のリゾート地としても有名な島です。世界遺産のジョージタウンは、英国植民地時代や東西貿易の拠点を経て中国・インド・西洋など様々な文化の影響を受けたユニークな文化が残るエキゾチックな街で、所在のペナン州は、国内でも2-3番目の経済規模をもつ都市圏です。

●担当教員	LIU SORAYA (国際教育推進機構)	●引率	担当教員が同行します。
●滞在形態	ホテル宿泊(2~3名1室基準)	●食事	ホテル滞在中の朝食付き
●パスポート (日本国籍)	入国時+6ヶ月の残存有効期間が必要。 ※ 募集要項:申込要件「J-1. パスポートについて」を確認してください。		
●取得必要なビザ (日本国籍)	不要	●参加条件と なる予防接種	なし
●主な視察スポット	世界遺産ジョージタウン(ペラナカン文化関連施設、ムスリムモスク、ヒンドゥー寺院、仏教寺院、ストリートアートなど)、ペナブリッジ、ペナンヒル、バトゥフェリンギビーチ など		
●食文化の特徴	マレー料理の特徴はたっぷりのハーブ&スパイスと、ココナッツミルクを使うこと。 また、マレー系の人々は主にイスラム教徒なので、豚肉やアルコールを一切使用していません。		
●過年度テーマ例	マレーシアの食文化、ペナンの観光産業、ペラナカン文化、マレーシアにおけるイスラム教など。		

● 往復路移動の航空便について ※現時点の予定の為、変更の可能性があります。

【航空会社】:マレーシア航空(MH)

【乗継経由地】:クアラルンプール

【出発】:関西空港(9/01/日 朝集合予定)

【帰着】:関西空港(9/08/日 朝解散予定)

※ 航空便は団体手配の為、国内空港乗継がある場合も含めて、途中参加・途中離団の参加は認められません。

●【参考】プログラム参加費用 ※以下は作成時点で予測される、費用範囲です。あくまで参考として確認ください。

① 24万円 ~ ② 27万円 ※ 参加人員・為替・燃油サーチャージ等により変動します。

① は、募集定員での実施にて、本要項発行日現在の為替・燃油サーチャージ等の情報で算出した予測費用、
 ② は、最少催行人数での実施にて、燃油サーチャージ等の不確定要素の上昇などを、ある程度見込んだ予測費用です。
 ※ 費用の不確定要素が、予測を超えて変動した場合、上記の範囲を超える場合があります。
 ※ 上記参加費用の基準となる構成(内訳)や、変動要素、上記に含まれないその他の費用、参加費用の納入方法などの情報は、募集要項:申込要件「L. 費用について」を参照してください。
 また、本コースの費用に関しての特記事項がある場合は、本ページ最下部に記載しています。

原則、参加者全員が利用でき、返済不要のチャレンジ奨学金の支給により、

参加者負担は上記から、実質 5万円 軽減されます。

※ 奨学金については、募集要項:申込要件「M. 奨学金について」をご確認ください。

● 本コースの費用・その他に関わる特記事項

・ 現地プログラム、フィールドワーク中に必要な個別の交通費・入場料・飲食費は 参加費用に含まれません

D-3. Global Fieldwork Project パンニャサ大学 (カンボジア)

※ 派遣期間・派遣都市・募集定員・最少催行人員などは、表紙のコース一覧で確認してください。
 ※ コースの開講科目と単位授与については募集要項:申込要件「N. 学籍と履修について」を参照してください。

●協定校・都市紹介

カンボジアは1975年から1979年の間、ポル・ポト政権がもたらした戦禍によって、多くの若者を失いました。パンニャサ大学はカンボジアが平和を取り戻した1997年に設立され、平和な新しいカンボジア社会を構築することを目標に、英語とクメール語を用いたバイリンガル教育を実践している点に特徴があります。キャンパスは、今回の研修場所首都プノンペン以外にもあり、全国展開している大型私立大学です。プノンペンは、カンボジアの首都で、行政・文化・経済の中心地であり、市内の王宮にはカンボジア国王一家が住んでいます。メコン・トンレサップ・バサック川の合流点に位置し、フランス植民地時代の趣も残す自然と調和した美しい都市です。

●担当教員	石川 涼子(国際教育推進機構)	●引率	担当教員が同行します。
●滞在形態	ホテル宿泊(2~3名1室基準)	●食事	ホテル滞在中の朝食付き
●パスポート (日本国籍)	入国時+6ヶ月の残存有効期間が必要。 ※ 募集要項:申込要件「J-1. パスポートについて」を確認してください。		
●取得必要なビザ (日本国籍)	必要 ※詳細はガイダンスにて案内	●参加条件となる予防接種	なし
●主な視察スポット	ワットプノン、王宮、シルバーパゴダ、独立記念塔、トゥルースレン虐殺博物館、キリングフィールド ※最終日には夜行バスを利用し、アンコールワットを視察してから帰国する予定です。		
●食文化の特徴	カンボジアの伝統料理は「クメール料理」と呼び、地元の新鮮な魚介類を中心とした食材を使い、色んなスパイスやハーブ、フルーツを使った料理が多く、それぞれに特有の風味があります。		
●過年度テーマ例	ポル・ポト政権と教育開発、大学卒業後のキャリアに関する学生意識の日本・カンボジア比較、グローバル経済がカンボジア社会にもたらすインパクト、観光が与えるカンボジア経済への影響など。		

● 往復路移動の航空便について ※現時点の予定の為、変更の可能性があります。

【航空会社】:ベトナム航空(VN) 【乗継経由地】:往路 ホーチミン/復路 ハノイ

【出発】:関西空港(9/01/日 朝集合予定) 【帰着】:関西空港(9/08/日 朝解散予定)

※ 復路はアンコールワット見学後、シェムリアップからカンボジアを出国します。
 ※ 航空便は団体手配の為、国内空港乗継がある場合も含めて、途中参加・途中離団の参加は認められません。

●【参考】プログラム参加費用 ※以下は作成時点で予測される、費用範囲です。あくまで参考として確認ください。

① 25万円~ ② 28万円 ※ 参加人員・為替・燃油サーチャージ等により変動します。

① は、募集定員での実施にて、本要項発行日現在の為替・燃油サーチャージ等の情報で算出した予測費用、
 ② は、最少催行人数での実施にて、燃油サーチャージ等の不確定要素の上昇などを、ある程度見込んだ予測費用です。
 ※ 費用の不確定要素が、予測を超えて変動した場合、上記の範囲を超える場合があります。
 ※ 上記参加費用の基準となる構成(内訳)や、変動要素、上記に含まれないその他の費用、参加費用の納入方法などの情報は、募集要項:申込要件「L. 費用について」を参照してください。
 また、本コースの費用に関しての特記事項がある場合は、本ページ最下部に記載しています。

原則、参加者全員が利用でき、返済不要のチャレンジ奨学金の支給により、

参加者負担は上記から、実質 5万円 軽減されます。

※ 奨学金については、募集要項:申込要件「M. 奨学金について」をご確認ください。

● 本コースの費用・その他に関わる特記事項

- ・ 現地プログラム、フィールドワーク中に必要な個別の交通費・入場料・飲食費は 参加費用に含まれません
- ・ 最終日エクスカーション、アンコールワットの見学費用は、参加費用に含まれます。
- ・ 日本国籍参加者のビザ代行申請に関わる費用はプログラム参加費用に含まれます。

※ 本コースは、1次募集の申込にて最少催行人員に足りていない為、万一、2次募集での申し込みを含めても、催行人数に至らず閉講になった場合に備えて、第2志望で他のコースの併願も併せてご検討ください。

D-4. Global Fieldwork Project チュラロンコン大学 (タイ)

※ 派遣期間・派遣都市・募集定員・最少催行人員などは、表紙のコース一覧で確認してください。
 ※ コースの開講科目と単位授与については募集要項:申込要件「N. 学籍と履修について」を参照してください。

●協定校・都市紹介

チュラロンコン大学はタイの首都バンコクに位置する総合大学で、タイ王国初の公立大学として、1917年に創設。大学名の「チュラロンコン」は、タイの近現代教育の立役者である、創設者の父ラーマ5世の名に由来しています。現在は20の学部に加えて約20のカレッジ・研究機関を有しており、タイ国内における最も権威ある大学の一つです。タイは国民の9割以上が仏教徒の仏教国で、総じておおらかで温厚な国民性といわれます。首都バンコクは、マレー半島の付け根、東南アジアのほぼ中心に位置し、金色にきらめく仏教寺院と、近代的な高層ビルが渾然と立ち並ぶエキゾチックな国際都市で、親日家が多いことでも知られ、東南アジアの中で最も日本人が多い都市でもあります。

●担当教員	糸井 貴夕(国際教育推進機構)	●引率	担当教員が同行します。
●滞在形態	ホテル宿泊(2~3名1室基準)	●食事	ホテル滞在中の朝食付き
●パスポート (日本国籍)	入国時+6ヶ月の残存有効期間が必要。 ※ 募集要項:申込要件「J-1. パスポートについて」を確認してください。		
●取得必要なビザ (日本国籍)	不要	●参加条件と なる予防接種	なし
●主な視察スポット	ワットポー、ワットアルン、ワットプラケオ、チャオプラヤー川、王宮、ワットパークナム、 水上マーケット、エラワンミュージアム、エラワン廟、世界遺産アユタヤ遺跡群など		
●食文化の特徴	タイ料理は東南アジアを代表するエスニック料理で、ナンプラー、パクチー、ココナッツミルク、 シーズニングソースなどが豊富に使われ、多彩な味わいとスパイスの香りが特徴的な料理です。		
●過年度テーマ例	仏教に着目した日本とタイの違い、バンコクの衣食住について、日本とタイとの市場の違い、 日本とタイの仏教の違いは何か、タイの魅力 など。		

● 往復路移動の航空便について ※現時点の予定の為、変更の可能性があります。

【航空会社】:タイ国際航空(TG) 【乗継経由地】:直行便

【出発】:関西空港(9/08/日 朝集合予定) 【帰着】:関西空港(9/15/日 朝解散予定)

※ 航空便は団体手配の為、国内空港乗継がある場合も含めて、途中参加・途中離団の参加は認められません。

●【参考】プログラム参加費用 ※以下は作成時点で予測される、費用範囲です。あくまで参考として確認ください。

① 30万円~ ② 33万円 ※ 参加人員・為替・燃油サーチャージ等により変動します。

① は、募集定員での実施にて、本要項発行日現在の為替・燃油サーチャージ等の情報で算出した予測費用、
 ② は、最少催行人数での実施にて、燃油サーチャージ等の不確定要素の上昇などを、ある程度見込んだ予測費用です。

※ 費用の不確定要素が、予測を超えて変動した場合、上記の範囲を超える場合があります。

※ 上記参加費用の基準となる構成(内訳)や、変動要素、上記に含まれないその他の費用、参加費用の納入方法などの情報は、募集要項:申込要件「L. 費用について」を参照してください。

また、本コースの費用に関しての特記事項がある場合は、本ページ最下部に記載しています。

原則、参加者全員が利用でき、返済不要のチャレンジ奨学金の支給により、

参加者負担は上記から、実質 6万円 軽減されます。

※ 奨学金については、募集要項:申込要件「M. 奨学金について」をご確認ください。

● 本コースの費用・その他に関わる特記事項

・ 現地プログラム、フィールドワーク中に必要な個別の交通費・入場料・飲食費は 参加費用に含まれません

D-5. Global Fieldwork Project ガジャマダ大学 (インドネシア)

※ 派遣期間・派遣都市・募集定員・最少催行人員などは、表紙のコース一覧で確認してください。
 ※ コースの開講科目と単位授与については募集要項:申込要件「N. 学籍と履修について」を参照してください。

●協定校・都市紹介

ガジャマダ大学は、インドネシア独立の動きの中で1949年に創立された国内で最も歴史のある国立大学で、現在18の学部、多くの大学院や短期プログラムを擁し、学生数は55,000人にのぼります。多くの著名人や有名人が排出され、政治、経済等多岐にわたる分野で活躍している。ジョコ・ウィドド大統領の出身校としても有名です。大学が所在するジョグジャカルタ市はインドネシア共和国のジャワ島中部南岸に位置するジョグジャカルタ特別州の州都。古くからジャワ島の中心地として栄え、独自の文化を残す観光地。郊外にある2つの世界遺産のほか、市内の王宮や市場、博物館などが当時の面影を残す。一方で、学生の街としても有名で、数多くの大学が集中しています。

●担当教員	庄子 萌 (国際教育推進機構)	●引率	担当教員が同行します。
●滞在形態	ホテル宿泊 (2~3名1室基準)	●食事	ホテル滞在中の朝食付き
●パスポート (日本国籍)	入国時+6ヶ月の残存有効期間が必要。 ※ 募集要項:申込要件「J-1. パスポートについて」を確認してください。		
●取得必要なビザ (日本国籍)	必要 ※詳細はガイドンスにて案内	●参加条件と なる予防接種	なし
●主な視察スポット	世界遺産ボロブドゥール寺院遺跡群、世界遺産プランバナン寺院群、クラントン王宮 ラーマーヤナ舞踊、ワヤン・クリッ、バティック工房 など		
●食文化の特徴	インドネシア料理は香辛料を利かせた料理が多く、中でも欠かせないのが、サンバル。唐辛子、玉ねぎ、エビのペーストなどから作られ、炒めものから煮込み料理まで、幅広く使われています。		
●過年度テーマ例	インドネシアと日本の食文化の違い、ジョグジャカルタの観光産業、インドネシアの交通事情 インドネシアの人口分布と貧困削減、インドネシアのインフラ整備など。		

● 往復路移動の航空便について ※現時点の予定の為、変更の可能性があります。

【航空会社】:ガルーダインドネシア航空 (GA) 【乗継経由地】:羽田空港、ジャカルタ
 【出発】:伊丹空港 (9/07/土 早朝集合予定) 【帰着】:伊丹空港 (9/15/日 午後解散予定)

※ 航空便は団体手配の為、国内空港乗継がある場合も含めて、途中参加・途中離団の参加は認められません。

●【参考】プログラム参加費用 ※以下は作成時点で予測される、費用範囲です。あくまで参考として確認ください。

① 30万円 ~ ② 33万円 ※ 参加人員・為替・燃油サーチャージ等により変動します。

① は、募集定員での実施にて、本要項発行日現在の為替・燃油サーチャージ等の情報で算出した予測費用、
 ② は、最少催行人数での実施にて、燃油サーチャージ等の不確定要素の上昇などを、ある程度見込んだ予測費用です。
 ※ 費用の不確定要素が、予測を超えて変動した場合、上記の範囲を超える場合があります。
 ※ 上記参加費用の基準となる構成 (内訳) や、変動要素、上記に含まれないその他の費用、参加費用の納入方法などの情報は、募集要項:申込要件「L. 費用について」を参照してください。
 また、本コースの費用に関しての特記事項がある場合は、本ページ最下部に記載しています。

原則、参加者全員が利用でき、返済不要のチャレンジ奨学金の支給により、

参加者負担は上記から、実質 6万円 軽減されます。

※ 奨学金については、募集要項:申込要件「M. 奨学金について」をご確認ください。

●本コースの費用・その他に関わる特記事項

・ 現地プログラム、フィールドワーク中に必要な個別の交通費・入場料・飲食費は 参加費用に含まれません
 ・ 日本国籍参加者のビザ代行申請に関わる費用はプログラム参加費用に含まれます。

※ 本コースは、1次募集の申込にて最少催行人員に足りていない為、万一、2次募集での申し込みを含めても、催行人数に至らず閉講になった場合に備えて、第2志望で他のコースの併願も併せてご検討ください。

● お問い合わせ先:「留学サポートデスク」(BKC) TEL:077-561-4881 (平日 9:00~17:00)

D-6. Global Fieldwork Project 淡江大学 (台湾)

※ 派遣期間・派遣都市・募集定員・最少催行人員などは、表紙のコース一覧で確認してください。
 ※ コースの開講科目と単位授与については募集要項:申込要件「N. 学籍と履修について」を参照してください。

●協定校・都市紹介

淡江大学は、台湾の私立大学の中で最古の歴史を誇る総合大学で、国際関係・ビジネス・情報・観光などの様々な学科で全英語課程が実施されるなど、「国際化、情報化、未来化」の「三化」方針を推し進めており、卒業生は、その評価項目の中で、チームワーク、忍耐力、プレッシャー克服力では、トップクラスの国立大学を凌いでおり、競争の激しい就職市場で高い競争力を維持するようになっています。大学が所在する台北は、台湾の首都で、日本の植民地時代に整備された車線が通り、賑やかなショッピング街や近代的な建物があ、台湾の経済、政治、文化の中心地です。屋台で食べ物が売られる活気ある風景や、大規模に催される多くの夜市でも知られています。

●担当教員	駒見 一善(国際教育推進機構)	●引率	担当教員が同行します。
●滞在形態	ホテル宿泊(2~3名1室基準)	●食事	ホテル滞在中の朝食付き
●パスポート (日本国籍)	出国日までの有効期間が必要。 ※ 募集要項:申込要件「J-1. パスポートについて」を確認してください。		
●取得必要なビザ (日本国籍)	不要	●参加条件と なる予防接種	なし
●主な視察スポット	国立故宮博物院、国立中正記念堂、龍山寺、総統府、台北101、台北忠烈祠、士林観光夜市九份、日月潭、台北MRT(地下鉄)、台北高速鉄道(新幹線)など		
●食文化の特徴	台湾料理とは、中華料理をベースに台湾独自のアレンジが加わった料理のことをいいます。八角やセロリ、パクチーなどの香りの強い食材や香辛料がふんだんに使われています。		
●過年度テーマ例	台湾のファッション、台湾はなぜ親日といわれるのか、台湾の屋台文化、台湾と日本の文化の違い、台湾の若者文化について、など		

● 往復路移動の航空便について ※現時点の予定の為、変更の可能性があります。

【航空会社】:スターラックス航空(JX)

【乗継経由地】:直行便

【出発】:関西空港(9/01/日 朝集合予定)

【帰着】:関西空港(9/08/日 午後解散予定)

※ 航空便は団体手配の為、国内空港乗継がある場合も含めて、途中参加・途中離団の参加は認められません。

●プログラム参考費用 ※以下は作成時点で予測される、費用範囲です。あくまで参考として確認ください。

① 24万円~ ② 27万円 ※ 参加人員・為替・燃油サーチャージ等により変動します。

① は、募集定員での実施にて、本要項発行日現在の為替、燃油サーチャージ等の情報で算出した予測費用、
 ② は、最少催行人数での実施にて、燃油サーチャージ等の不確定要素の上昇などを、ある程度見込んだ予測費用です。
 ※ 費用の不確定要素が、予測を超えて変動した場合、上記の範囲を超える場合があります。
 ※ 上記参加費用の基準となる構成(内訳)や、変動要素、上記に含まれないその他の費用、参加費用の納入方法などの情報は、募集要項:申込要件「L. 費用について」を参照してください。
 また、本コースの費用に関しての特記事項がある場合は、本ページ最下部に記載しています。

原則、参加者全員が利用でき、返済不要のチャレンジ奨学金の支給により、

参加者負担は上記から、実質 5万円 軽減されます。

※ 奨学金については、募集要項:申込要件「M. 奨学金について」をご確認ください。

●本コースの費用・その他に関わる特記事項

現地プログラム、フィールドワーク中に必要な個別の交通費・入場料・飲食費は 参加費用に含まれません

E-1. 異文化理解セミナー「アラバマ大学」(アメリカ)1/2

- ※ 派遣期間・派遣都市・募集定員・最少催行人員・研修言語などは、表紙のコース一覧で確認してください。
- ※ コースの開講科目と単位授与については募集要項:申込要件「N. 学籍と履修について」を参照してください。

● シラバス(「授業の概要と方法」「受講生の到達目標」など)

manaba+R マイページ > シラバス(検索)にて、各コースの「協定校名」を入力して検索、確認してください。

● プログラム概要(異文化理解セミナー)

語学学習と国際的視野を養う海外留学の入門的プログラムです。派遣先大学において、外国語学習、外国語による社会・文化・政治・経済・歴史事情を軸とする異文化理解に関する講義を受け、各自のテーマについてレポートにまとめるかプレゼンテーションを行います。フィールドトリップや、施設見学・地域社会との交流なども予定されています。

● 協定校・都市紹介

アラバマ大学は、1831年に創立された、全米でもっとも歴史と伝統のある南部屈指の総合大学で、世界各国からの留学生を含む約38,000人が在籍しています。また、世界トップレベルの研究力で教員・学生共に全米有数の奨学金や賞を多数獲得しています。米国で最も美しいキャンパスに選ばれており、6つの図書館、9つのコンピュータ・ラボ、最新の学生レクリエーション・センターをはじめとする数々の施設を学生に提供しています。

また、スポーツ強豪校として、大学のアメリカンフットボールチームは何度も全米チャンピオンに輝いた実績があります。キャンパスはアメリカ南東部に位置する、アラバマ州の中西部、タスカルーサという人口約9.5万人の小規模都市にあり、着発空港のある近隣都市バーミングハムまでは車で約1時間、ジョージア州の州都アトランタまでは約3時間という場所で、市内だけでも33の公立公園があり、アウトドアスポーツや様々な文化活動が行われています。

● プログラム 形態	オープン	● クラス編成 ※ レベルテスト	他国、及び日本の他大学生を含む可能性あり ※レベルテストは現地到着後実施予定(最大16名/1クラス)
---------------	------	---------------------	---

● コースの特徴(学び・エクスカージョンなどについて)

アラバマ大学付属のイングリッシュ・ランゲージ・インスティテュート(ELI)にて、レベル別のリーディング/ライティング、スピーキング/リスニング、ストラクチャー(文法)の授業を受講します。

ELIは、授業の質の高さに評判があり、教師陣は第二言語としての英語教授法の修士号をもち、英語教育の指導に関して広範な経験を積んでいます。

放課後には、自由に参加できるアクティビティがあります。

<アクティビティー例>アラバマ大学生とのディスカッションクラス(Culturally Speaking)、コーヒーアワー(Multicultural Coffee Hour)、フライデーセミナー(Friday Seminar)、アメフトの試合観戦、自然史博物館訪問など。※詳細は現地到着後のオリエンテーションにて確認してください。

また、Language Exchange Partnerをリクエストすることも可能です。

【コース検討の参考になる資料】※以下URLから資料が確認できない場合、URLをコピーし直接webの検索欄に貼付してください。

<https://www.ritsumei.ac.jp/students/studyabroad/db/Alabama2024.pdf>

● コース独自の申込要件

- ・「募集要項:申込要件」記載の申込資格以外のコース独自の申込要件はありません。

本コースは、先行してビザ取得手続きを行うために、合格発表後すぐ(5/24/金 13:00)にパスポートのコピーデータを提出いただく必要があります。
提出に間に合わない方は、アラバマ大学のコースにお申込みいただくことは出来ません。

E-1. 異文化理解セミナー「アラバマ大学」(アメリカ) 2/2

● 担当教員	大浦 啓輔(経営学部)	● 引率	教員・旅行社共に、同行しません。
● パスポート (日本国籍)	帰国日+6ヵ月以上の残存有効期間が必要。 ※ 募集要項:申込要件「J-1. パスポートについて」を確認してください。		
● 取得必要なビザ (日本国籍)	必要(代行申請あり) ※ F-1・学生ビザ	● 予防接種 (参加必須条件)	必要(以下参照)

【ビザ取得について】 ※詳細は派遣候補者決定後、合格者ガイダンスにて案内します。

査証は、あくまで渡航国都合で行われ、急遽手続内容や、取得のための所要日数が変更になる場合があります。申請すれば出発までに取得できると決まっている訳ではありません。取得できない場合は辞退となり、取消料が必要です。案内に従って書類提出期限を守って、速やかに、慎重に手続を進める必要があります。

【予防接種について】 ※詳細は派遣候補者決定後、予防接種ガイダンスにて案内します。

アラバマ大学の規定により、事前に定められた種類のワクチン接種及び結核検診が必要です。

予防接種履歴確認の為、合格発表後、5/27(月)までに「母子手帳」原本を提出頂きます。事前にご準備ください。

予防接種ガイダンス後、本学保健センター受診時に予防接種スケジュール計画作成、各種ワクチン接種の流れです。

・髄膜炎ワクチン×1回 ・麻疹を含むワクチン×2回 ・結核検診(1年以内)

● 往復路移動の航空便について ※現時点の予定の為、変更の可能性があります。

【航空会社】:デルタ航空(DL)

【乗継経由地】:羽田空港、及びアトランタ空港

【出発】:伊丹空港(8/17/土 昼頃集合予定)

【帰着】:伊丹空港(9/16/月 夜解散予定)

※ 往復路共に移動は参加学生のみで、団体として乗継等も含めて全員の協力により対応する必要があります。

※ 航空便は団体手配の為、国内空港乗継がある場合も含めて、途中参加・途中離団の参加は認められません。

● 滞在形態 ※ 通学方法	ホテル(2-3名/1室) ※無料のバス、又は徒歩通学	● 費用に含む 食事条件	朝食付き
------------------	-------------------------------	-----------------	------

● プログラム参考費用 ※以下は作成時点で予測される費用の範囲です。あくまで参考としてご確認ください。

① 100万円～ ② 105万円 ※ 参加人員・為替・燃油サーチャージ等により変動します。

① は、募集定員での実施にて、本要項発行日現在の為替・燃油サーチャージ等の情報で算出した予測費用、

② は、最少催行人数での実施にて、燃油サーチャージ等の不確定要素の上昇などを、ある程度見込んだ予測費用です。

※ 費用の不確定要素が、予測を超えて変動した場合、上記の範囲を超える場合があります。

※ 上記参加費用の基準となる構成(内訳)や、変動要素、上記に含まれないその他の費用、参加費用の納入方法などの情報は、募集要項:申込要件「L. 費用について」を参照してください。

また、本コースの費用に関しての特記事項がある場合は、本ページ最下部に記載しています。

原則、参加者全員が利用でき、返済不要のチャレンジ奨学金の支給により、

参加者負担は上記から、実質 10万円 軽減されます。

※ 奨学金については、募集要項:申込要件「M. 奨学金について」をご確認ください。

● 本コースの費用・その他に関わる特記事項

- ・ 日本国籍参加者のF-1ビザ取得代行申請の費用は、プログラム参加費用に含まれます。
- ・ プログラム参加条件となる、予防ワクチン接種・及び検査等の費用は、プログラム参加費用に含まれません。
- ・ 本コースの滞在形態は、原則ホテル利用にて予定していますが、申込人数によっては、大学の学生寮に変更になる可能性があります。(滞在形態が学生寮になった場合、プログラム費用は上記より減額される予定です。)

E-5. 立命館・昭和ボストン「文化・社会調査」(アメリカ) 1/2

- ※ 派遣期間・派遣都市・募集定員・最少催行人員・研修言語などは、表紙のコース一覧で確認してください。
 ※ コースの開講科目と単位授与については募集要項:申込要件「N. 学籍と履修について」を参照してください。

● シラバス(「授業の概要と方法」「受講生の到達目標」など)

manaba+R マイページ > シラバス(検索)にて、各コースの「協定校名」を入力して検索、確認してください。

● プログラム概要

アメリカ文化体験を主とした初級者向けの国際教育入門プログラムです(昭和女子大学他との合同プログラム)。申込時の英語でのレポート提出は不要です。英語に自信は無いけれど、海外体験をしてみたい方におススメです。日本語スタッフ体制も充実しており、期間中の学習および生活上の指導・サポートも行います。

● キャンパス・都市紹介

昭和女子大学が所有・経営する教育施設「Showa Boston Institute, USA」キャンパスはボストン中心部から車で15分ほどの小高い丘の上、閑静な住宅街にあり、約48,000坪の広大な敷地に300人以上滞在できる学生寮(2-4名/1室)と教室棟があります。カフェテリア、レクチャーホール、図書室をはじめ、プール、ジャグジー、フィットネスルーム、テニスコートやバスケットコートなどがあります。
 また24時間対応のセキュリティーシステムと日本語の話せる看護師が常駐する保健室を備えています。生活面や学習面でもバイリンガルスタッフがサポートしますので、海外が初めての方でも安心して滞在できます。

● プログラム形態

オープン

● クラス編成
※ レベルテスト

日本の他大学生と合同のクラス
 ※レベルテストは渡航前にオンライン実施

● コースの特徴(学び・エクスカッションなどについて)

午前中の英語の授業は、全員が大学院修了者またはTESOL有資格で、日本人を対象とした教育経験豊富な教員によって行われ、一般英語の授業は渡航前に実施するオンラインテストによりレベル別クラスで無理なく効率的に学べます。さらに、選択したフォーカスグループにあわせた専門英語の授業もあるので、訪問先で見聞きする専門用語も理解できます。午後はフォーカスグループに分かれて専門の授業とフィールドトリップを実施。日本語のサポートがつくので、専門知識もしっかり吸収して各分野の現場を体感できます。専攻にとらわれず興味のあるフォーカスグループで実践的に学べるプログラムです。申込時に、以下の①~⑧のテーマから第1希望~第3希望、及びオプションツアーの申込選択が必要です。

【フォーカスグループ・選択テーマ】

- ① アメリカ文化(2名) ② アメリカン・ビジネス(3名) ③ フードマネジメント(14名)
 ④ ホスピタリティ(2名) ⑤ ミュージアム&アートコレクションズ(3名) ⑥ ボランティア(9名)

【オプションツアー・フィールドトリップ】 ※原則、以下オプションはコース申込時以降は受付けていません。

- ① 「ニューヨーク1泊2日」オプションツアー(\$550) ※6/5(水)までは取消可
 ② 「東洋貿易と魔女狩りの町セイラム」日帰りオプションフィールドトリップ(\$35) ※8/5(月)までは取消可

【コース検討の参考になる資料】 ※以下URLから資料が確認できない場合、URLをコピーし直接webの検索欄に貼付てください。

※ 現地スケジュール(例)、選択テーマ、オプションツアー・フィールドトリップ、アクティビティ、キャンパス等の情報は、本コースで参加するオープンプログラム「Boston Summer Session 2024」募集要項を以下より参照してください。

<https://www.ritsumei.ac.jp/students/studyabroad/db/ShowaBoston2024.pdf>

● コースの申込要件

・「募集要項:申込要件」記載の申込資格以外のコース独自の申込要件はありません。

E-5. 立命館・昭和ボストン「文化・社会調査」(アメリカ) 2/2

● 担当教員	羽谷 沙織(国際教育推進機構)	● 引率	教員・旅行社共に、同行しません。
● パスポート (日本国籍)	出国日までの残存有効期間が必要。 ※ 募集要項:申込要件「J-1. パスポートについて」を確認してください。		
● 取得必要なビザ (日本国籍)	電子渡航認証(代行申請) ※ESTA	● 参加条件と なる予防接種	必要(以下参照)
<p>【予防接種について】 ※詳細は派遣候補者決定後、予防接種ガイドスにて案内します。 マサチューセッツ州の規定により、事前に定められた種類のワクチン接種が必要です。 <u>予防接種履歴確認の為、合格発表後、5/30(木)までに「母子手帳」原本を提出頂きます。事前にご準備ください。</u> 予防接種ガイドス後、本学保健センター受診で予防接種スケジュール計画作成、各種ワクチン接種をする流れです。 ※参加条件予防接種: B型肝炎、麻疹、風疹、ムンプス、水痘、髄膜炎、輸入ワクチンのTdap等 また、新型コロナワクチンの接種は参加条件となっていませんが、渡航前3カ月程度でのブースター接種1回、 未接種の方は2回の接種を強く推奨されています。</p>			
● 往復路移動の航空便について ※現時点の予定の為、変更の可能性があります。			
【航空会社】:ユナイテッド航空(UA)		【乗継経由地】:往路:羽田・ニューヨーク / 復路:シカゴ・羽田	
【出発】:伊丹空港(8/06/火 朝集合予定)		【帰着】:伊丹空港(9/02/月 夜解散予定)	
※ 往復路共に移動は参加学生のみで、団体として乗継等も含めて全員の協力により対応する必要があります。 ※ 航空便は団体手配の為、国内空港乗継がある場合も含めて、途中参加・途中離団の参加は認められません。			
● 滞在形態 ※ 通学方法	学生寮(2名~4名/1室) ※徒歩通学	● 費用に含む 食事条件	平日:朝昼夜 3食 週末・祝日:朝夕 2食
● プログラム参考費用 ※以下は作成時点で予測される費用の範囲です。あくまで参考として確認ください。			
<p>① 92万円~ ② 95万円 ※ 参加人員・為替・燃油サーチャージ等により変動します。</p> <p>① は、募集定員での実施にて、本要項発行日現在の為替・燃油サーチャージ等の情報で算出した予測費用、 ② は、最少催行人数での実施にて、燃油サーチャージ等の不確定要素の上昇などを、ある程度見込んだ予測費用です。 ※ 費用の不確定要素が、予測を超えて変動した場合、上記の範囲を超える場合があります。 ※ 上記参加費用の基準となる構成(内訳)や、変動要素、上記に含まれないその他の費用、参加費用の納入方法 などの情報は、募集要項:申込要件「L. 留学に必要な費用について」を参照してください。 また、本コースの費用に関しての特記事項がある場合は、本ページ最下部に記載しています。</p> <p>原則、参加者全員が利用でき、返済不要のチャレンジ奨学金の支給により、 参加者負担は上記から、実質 10万円 軽減されます。</p> <p>※ 奨学金については、募集要項:申込要件「M. 奨学金について」をご確認ください。</p>			
● 本コースの費用・その他に関わる特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> 電子渡航認証「ESTA」の代行申請費用はプログラム参加費用に含まれます。 プログラム参加条件となる、予防ワクチン接種・及び検査等の費用は、プログラム参加費用に含まれません。 申込時選択する、オプションツアー・日帰りフィールドトリップの費用は、プログラム参加費用に含まれません。 現地校規定により、期間中はオプションツアー以外での、マサチューセッツ州外への旅行は認められません。 本コース参加には、緊急時対応のため、現地で随時データ通信可能な携帯電話の所持が条件となっています。 ソフトバンクのアメリカ放題に加入又は、指定の携帯SIMカードの契約など(1カ月あたり\$30~\$60程度) 希望者は携帯端末を昭和ボストンでレンタルすることもできます。(レンタル代:\$42程度。デポジット\$100程度) また、通話・データ送受信などを利用した場合は別途通信料金がかかります。詳細は合格者ガイドスで案内します。 			